

# 西蒲民商ニュース

16年10月31日号

西蒲区巻甲2573-5

TEL 72-3372

FAX 72-3321

## 賃金下がったら年金カット

## 年金5%カット法

## 案の撤回を!

中小業者・農民が加入している国民年金は、最高支給額（40年加入）、年78万円（月65000円）です。多くの会員は、60歳からもらい、年20万円〜30万円の支給で「雀の涙」「孫のこづかいもでない」状態です。国会には、年金カット法案が提出されています。

① 物価スライド制をやめる。

今、建前は物価が上がれば年金が上がる事になっていきます。実際は賃金に合わせていきます。賃金がマイナスになった場合でも年金はマイナスになりません。

② 賃下げ、物価上昇でも年金カット

今回の法案は、賃金が下がったら物価が上昇しても年金がカットされます。

③ 年金は5%カットされます。

日本共産党や民進党の試算では、

○国民年金 月3千3百円（年4万円）

○厚生年金 月1万2千円（年14万円）

カットされます。

商売が厳しいのに「最後の命綱」の年金カットでは、生きる希望が持てません。法案の問題を市民に知らせ、撤回を求めて行きましょう。



## 米山新知事語る

○柏崎・刈羽原発再稼働について  
再稼働を止めてほしいのとの思いは、重いと感じている。福島原発の事故の検証、健康と生活の影響、避難計画の実効性の究明をすすめる。検証が進められない限り再稼働の議論は始められない、これはみんなが共感できると思います。

○農業、医療、介護、教育等の政策は  
TTPは問題点を洗い出し、農家の個別所得補償制度の復活を求めたい。子供医療費助成や介護助成が必要。県独自の学生への給付型奨学金が必要だ。

○野党共闘について  
野党がお互いの違いを指摘し合うのでなく尊敬（リスペクト）する事が必要、違いを尊敬し合えば市民も集まる。

○日本共産党への印象は？  
抵抗は全くない、医師として福祉の現場を見ていると共産党は拾われてないところを拾っている。  
(10月25日付け赤旗から転載)

## 紅葉と温泉の旅、山形

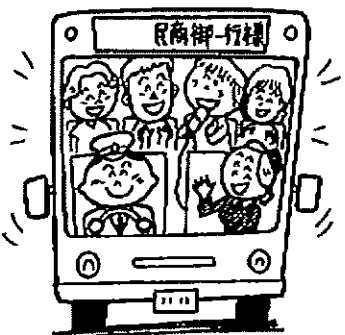
### 県小国町・長者原へ

秋の一日、西蒲民商・共済会主催の楽しいバス旅行に参加しましょう。

○11月3日（木・文化の日）午前8時半  
西蒲民商事務所前集合

○山形県・小国町、長者原付近の紅葉  
国民宿舎・梅花皮壮、川入社で温泉と食事。道の駅・関川で茸等の買い物

○交通費は無料、飲み物等差し入れ有  
(参加希望者は役員か民商まで)



\*大腸ガン検診(共済加入者無料)は、

12月5日(月)実施します。